

## 安曇野のモダニズム

清沢家所蔵誌 腰 原 哲 朗

蔵書目録一覧 鈴 木 尚 通

モデルニズムは佐藤朔『モダニズム今昔』で記すように「文学・芸術の用語として定義づけられているわけではない」ようだ。しかしダダ・シュルレアリスムなど、いわゆる前衛芸術、アヴァンギャルドといった広義の意味で、安曇野穂高町の清沢清志家のサロンを、モダニズムの場の一つだった、という視点から、蔵書を調査したので、その一部を素描する中間報告とした。

すでに「地域総合研究」2号で「清沢清志論」を記しているので清志については略すが、調査は当主清沢稔氏の了解と、穂高町の歴史家中島博昭氏、および松本大学鈴木尚通、腰原ゼミ生の協力による。

吉行エイスケを中心とした書簡類や蔵書の全貌は次の機会とする。

## 清沢家所蔵の雑誌

### I 文芸誌

#### 日本詩人

新潮社発行 大正10～15 通巻59冊。

詩壇を代表した詩誌だったから、定期講読したと思われる。「文章倶楽部」新潮社大正5～昭和4通巻156冊、「文章世界」博文館明治39～大正9通巻204冊なども同様に定期購入したか。

#### 蠟人形

西条八十主宰 明治5～19 全163冊。

長野市出身の大島博光が編集に当たったから親近感も手伝って随時講読したか。

#### 詩聖

大正期の有力な詩誌 大正10～12 全24冊。

大正12、5月号には「労農ロシアの詩壇」があるので求めたものか。

#### 詩神

代表的な詩人たちが寄稿した。大正14～昭和6まで発行か。吉行エイスケ「栄誉あるプロフィール」という短文が載ったので入手したか。

#### セルパン

長谷川巳之吉発行の文化誌 昭和6～16。詩のほか外国文学の翻訳紹介が多かったのが求めたものか。「日本詩壇」昭和8～19。詩の状況を幅広くあつかった詩壇の総合誌といった傾向を有する誌。

#### レコード文芸

伊藤松雄が岡谷市で出した創刊号。「町の劇場」で諏訪を中心に演劇活動した伊藤松雄を、安曇野出身の松本克平は『日本社会主義演劇史』で高く評価する。演劇協会を創設した清志だったから、「ラジオ講座」「放送」「洋楽研究」（創刊号）などの各誌を参考にしたか。北原白秋の弟が発行した「アルスグラフ」や「中央美術」も演劇ホリゾントの参照にしたか。

#### カフェークラブ

演劇雑誌。夏川静江のグラビアなど、俳優の記事、写真などをふくむ。

## 文芸市場

金子洋文編集 大正14～昭和2 通巻19冊。

ダダ、表現主義などを支持しつつ、プロレタリア文学へも傾斜していった誌。この大正15、6月号は「現ロシア代表作家傑作短篇集」特集だったから入手したものか。

若山喜志子、鷹野つぎのエッセイもある。「ロシア文学」「露西亜評論」を求めた反面、逆の潮流にも視線を送っている。

「文芸世紀」中河与一編集がそれで、日本浪漫派など、当時の空気を反映している。

## 霸王樹

短歌誌であるが、この創刊号には日夏耿之介が寄稿している。「ほほじろ」や名古屋市発行の「果樹園」も歌誌。長野市で発行の「海市」は句誌。栗生純夫が寄稿している。これらは寄贈されたと思われ、清志の文人氣質がうかがわれる。

## II 大学誌

「三田文学」「早稲田文学」のほかに、一高の「橄欖」には釈迢空が、松高の「KOYU KAI ZASSHI」(昭和5、12)には田中富次郎が小説を書いている。

「白樺」が多く散見するのは当然であろう。

## III 総合誌

### 日本

津田光造が関係したので、多く保管されたか。国家主義者大川周明の行地社の発行。「日本一」も総合誌の趣で、宇野浩二らが書いている。

「中央公論」「文芸春秋」「改造」が多いのは当然である。「改造」は大正デモクラシー昂揚期にかけて「中央公論」となる両翼的存在。創業の山本実彦は、西園寺公望が文学者を集めた雨声会にならいたい意気込みで大正8年創刊、円本時代を現出させるなど、その活躍ぶりは、たとえば松原一枝『改造社と山本実彦』にくわしい。

「中央公論」については記すまでもないが、穂高町出身の自由主義ジャーナリスト清沢洌の尽力を想起しなければならない。(穂高町で永沼孝致、牛山隆康氏らによる「清澤洌顕彰会」が続いている)

## IV 他誌

### 扉

北安曇郡池田町丸山英一編集 大正15、6。

創刊号で1冊しかないが、郷土の月刊誌として発行。巻頭はゾルゲ事件にもかかわった政治学士の川合貞吉「資本主義組織の崩潰過程」。そのほかメーデー参加の記、社村分合問題、松本と上田を結ぶ鉄道問題、白馬自動車会社の労働争議などが論じられている。

### 英語研究

清志は英語に造詣が深く「カムカム英詩講座」という冊子を著わしている。

戦時中は〈藤村会〉を地域の人々と企画して藤村文学に親しみ、「藤村會誌」を発行、藤村自身も「溢るゝものこそすべてである」の詞文をよせた。(穂高町公民館に碑)

清志は12月9日朝、治安維持法違反で検挙されるから、英語にかかわる活動は戦後が主である。視力を失う晩年、英語への愛着が「カムカム英詩講座」を生んだようである。

ダダイズム 売恥醜文

吉行エイスケ中心の雑誌である。「葡萄園」など写真撮影のみで調査中のため一覧表は略す。

葡萄園

同人誌 大正12～昭和6 全4期53冊。

久野豊彦、蔵原伸二郎らの後をうけて、吉行栄助が第三次(昭和5・1通巻48号まで)編集の中心となった。そのほか主な雑誌は次のようである。

世界詩人 現示 黒い顔 鎖 新個人主義芸術 ゲエギムギガム ライオン 濱千鳥 舩龍 無花果 白花 秀才世界 白雲 新進詩人 詩之家 金星 人生 白蓮 安曇 新興芸術 穂蔭く人

信州詩人 耕土 青青 星林 地上 樹水 高原詩人 形象 清流 青蛙 かなりや INIATIVE 祖國 テクルヒト 輪舞 草の塔 LA FRESQUE 詩典 中信詩人など

(付記)

調査中に、清沢家に滞在して世話になったアナーキスト詩人、竹内てるよの生涯をドラマ化した「海のオルゴール」(フジTV系長野放送テレビ)が6月28日放映、また八十二文化財団教養講座「信州の近代化と女性たち」で、7月10日腰原哲朗が「穂高、清沢家と詩人・竹内てるよ」と題して発表した。

吉行エイスケの妻、あぐり夫人の半生もNHK連続テレビで放映され知られるところとなった。吉行和子責任編集「吉行エイスケとその時代」(平成9・7)に収録されている〈清志・辻潤・エイスケ・津田光造〉の大正13年の写真は、清沢家からの提供。

前衛芸術家の村山知義が設計し、新聞で市ヶ谷に現われた或る美容院、と評判になったあぐり美容室の写真は『村山知義グラフィックの仕事』などで見ることができる。

(この調査は、松本大学学術研究助成の支援を受けての中間報告である)

番号	区分	編著者	書名	出版社	元号	発行年	発行月
1	本	井原西鶴, 池溝一(訳)	五人女	豊文館	大正	8	9
2	本	mary moore	personae of ezra pound		明治	42	4
3	本	素木しづ子	青白き夢	新潮社	大正	7	3
4	本	若山牧水	秋風の歌	盆文堂	大正	3	10
5	本	与謝野晶子	晶子新集	阿蘭陀書房	大正	6	2
6	本	北島英一	怪傑カイゼル	春江堂	大正	3	10
7	本	レマルク, 井上勇(訳)	凱旋門下	板垣書店	昭和	22	3
8	本	松平楽翁	花月草紙	富山房	大正	9	8
9	本	天地有情	記事文作り方				
10	本	ダヌンチオ, 加藤朝鳥(訳)	犠牲侵入者		大正	8	11
11	本	林芙美子	北岸部隊	中央公論社	昭和	14	1
12	本	木下尚江	荒野	昭文堂	明治	42	10
13	本	江馬修	寂しき道	新潮社出版	大正	6	3
14	本	三宅克巳	写真の写し方	阿蘭陀書房	大正	6	10
15	本	三論逸次郎	新詩の作り方		大正	7	1
16	本		人民文庫	人民社	昭和	12	8
17	本	三浦関造(訳)	タゴール詩集	東文堂	大正	4	5
18	本	ケエテ・コルヴィッツ, 磯部節治(訳)	種子を粉にひくな		昭和	28	11
19	本	瀧田憲次	函南挺進軍		昭和	18	9
20	本		隣れる部屋	警醒社書店	大正	8	6
21	本	田部重治	日本アルプス秩父巡礼	北星堂	大正	8	6
22	本	中土義敬	日本アルプスと秩父禮		大正	8	6
23	本	井原西鶴, 饗庭篁村(訳)	日本永代蔵	名著文庫	明治	36	12
24	本	児玉花外(訳)	バイロン詩集	大学館	大正	3	4
25	本		標註文章軌讀本	興文社			
26	本	國木田独歩	武蔵野		大正	7	5
27	本	吉井勇	明眸行	近田書店	昭和	6	10
28	本	壬生春子	目白より	東亜堂書房	大正	6	11
29	本	久世勇三	吉田松陰		大正	6	6
30	本	遠藤春吉	夜の街物語	青踏社	昭和	22	3
31	本	武藤禮き	六方禮のはなし		昭和	6	2
32	本	若山牧水	若山牧水集	新潮社	大正	5	11

番号	区分	編著者	雑誌名	巻	号	出版社	元号	発行年	発行月
1	雑誌		アルスグラフ	2	6	アルス	大正	15	6
2	雑誌		いにしあていぶ			いにしあていぶ社	昭和	24	8
3	雑誌		海市			海市社(長野市俳句誌)	大正	8	2
4	雑誌		海市			海市社(長野市俳句誌)	大正	8	4
5	雑誌		海市			海市社(長野市俳句誌)	大正	8	5
6	雑誌		海市			海市社(長野市俳句誌)	大正	8	7
7	雑誌		英語研究			東京研究社	昭和	4	7
8	雑誌		外国新聞雑誌研究				大正	13	5
9	雑誌		改造	5	3	改造社	大正	12	3
10	雑誌		改造	5	8	改造社	大正	12	8
11	雑誌		改造			改造社	大正	13	4
12	雑誌		改造	7	10	改造社	大正	14	10
13	雑誌		改造	12	1	改造社	昭和	5	1
14	雑誌		改造	17	4	改造社	昭和	10	4
15	雑誌		解放	3	6	解放社	大正	10	6
16	雑誌		果樹園		13	果樹園歌舎(名古屋短歌誌)	大正	9	12
17	雑誌		伽陀の接吻			東文堂書店	大正	4	3
18	雑誌		カフェークラブ			カフェークラブ社	大正	13	12
19	雑誌		希望	8	3	希望社	大正	14	3
20	雑誌		希望	9	1	希望社	大正	15	1
21	雑誌		希望	10	2	希望社	昭和	2	2
22	雑誌		希望	10	5	希望社	昭和	2	5
23	雑誌		グロテスク		4	文芸市場社	昭和	4	4
24	雑誌		校友会雑誌		8	松本高等学校文藝部	大正	14	2
25	雑誌		校友会雑誌19号		12	松本高校	昭和	5	12
26	雑誌		山岳号	4		第一書房	昭和	6	7
27	雑誌		詩神	6	7	宣言社	昭和	5	7
28	雑誌		時局雑誌			改造社	昭和	17	12
29	雑誌		時局情報			毎日新聞社	昭和	19	5
30	雑誌		詩聖			玄文社詩歌部	大正	10	9
31	雑誌		詩聖		16	玄文社	大正	11	11
32	雑誌		詩聖		5	玄文社	大正	12	5
33	雑誌		詩聖		6	玄文社	大正	12	5
34	雑誌		思想				昭和	6	5
35	雑誌		思想		116	岩波書店	昭和	6	12
36	雑誌		受験と学生			研究社	大正	14	1
37	雑誌		女性	2	1	プラトン社	大正	11	7
38	雑誌		女性			プラトン社	大正	12	2
39	雑誌		白樺		12	白樺社	大正	7	12
40	雑誌		白樺		5	白樺社	大正	8	5
41	雑誌		白樺		7	白樺社	大正	8	7
42	雑誌		白樺		10	白樺社	大正	8	10
43	雑誌		白樺		5	白樺社	大正	9	5
44	雑誌		新詩人			新詩人社	昭和	28	4
45	雑誌		新潮		7	新潮社	昭和	3	7
46	雑誌		新潮	52	2	新潮社	昭和	10	2
47	雑誌		森林		9	森林社	大正	11	9
48	雑誌		随筆	2	3	随筆社	大正	13	4
49	雑誌		性			日本性学会	大正	11	6
50	雑誌		世界		11	岩波書店	昭和	21	11
51	雑誌		セルパン		5	第一書房	昭和	7	4
52	雑誌		セルパン		12	第一書房	昭和	10	11
53	雑誌		短歌雑誌		2	短歌雑誌社	大正	8	2
54	雑誌		短歌雑誌		1	短歌雑誌社	大正	9	1
55	雑誌		知性	3	3	河出書房	昭和	15	3
56	雑誌		知性	4	7	河出書房	昭和	16	7
57	雑誌		中央公論		10	中央公論社	大正	9	10
58	雑誌		中央公論		5	中央公論社	大正	13	5
59	雑誌		中央公論		12	中央公論社	昭和	3	12
60	雑誌		中央公論		10	中央公論社	昭和	30	10
61	雑誌		中央美術		92	中央美術社	大正	12	5
62	雑誌		中央美術	10	11	中央美術社	大正	13	11

番号	区分	編著者	雑誌名	巻	号	出版社	元号	発行年	発行月
63	雑誌		中央美術	10	12	中央美術社	大正	13	12
64	雑誌		中央文学			春陽堂	大正	9	1
65	雑誌		中央文学			春陽堂	大正	9	12
66	雑誌		中学世界	22	13	博通社	明治	31	9
67	雑誌		中等英語	13	4	研究者	大正	14	4
68	雑誌		中部文学	2	5	中部文学社	昭和	16	5
69	雑誌		扉		6	扉社	大正	15	6
70	雑誌		錦旗公論	10	12	錦旗公論社	昭和	17	12
71	雑誌		日本		53	行地社	昭和	4	8
72	雑誌		日本詩壇	6	8	文藝汎論社	昭和	13	8
73	雑誌		日本	54		行地社	平成	4	9
74	雑誌		日本	56		行地社	平成	4	11
75	雑誌		日本	57		行地社	平成	4	12
76	雑誌		日本	58		行地社	平成	5	1
77	雑誌		日本	59		行地社	平成	5	2
78	雑誌		日本	60		行地社	平成	5	3
79	雑誌		日本	61		行地社	平成	5	4
80	雑誌		日本	62		行地社	平成	5	5
81	雑誌		日本	63		行地社	平成	5	6
82	雑誌		日本一	6	10	大日本文芸会社	大正	9	9
83	雑誌		日本詩人			新潮社	大正	11	10
84	雑誌		日本詩人	3	2	新潮社	大正	12	2
85	雑誌		日本詩人		3	新潮社	大正	12	3
86	雑誌		日本詩人		5	新潮社	大正	12	5
87	雑誌		日本詩人		6	新潮社	大正	12	6
88	雑誌		日本詩人	3	6	新潮社	大正	12	7
89	雑誌		日本詩人	3	1	新潮社	大正	12	1
90	雑誌		日本詩人	4	10	新潮社	大正	13	9
91	雑誌		日本詩人	4	11	新潮社	大正	13	11
92	雑誌		日本詩人	4	12	新潮社	大正	13	12
93	雑誌		日本詩人	5	1	新潮社	大正	14	1
94	雑誌		日本詩人	5	3	新潮社	大正	14	3
95	雑誌		日本詩人	5	7	新潮社	大正	14	7
96	雑誌		のぞみ	6	4	希望社	昭和	3	4
97	雑誌		霸王樹	1	1	霸王樹社	大正	8	8
98	雑誌		霸王樹	1	3	霸王樹社	大正	8	10
99	雑誌		霸王樹	1	4	霸王樹社	大正	8	11
100	雑誌		葉言葉と花			黎明館	大正	11	5
101	雑誌		人と芸術			人と芸術社	大正	11	7
102	雑誌		表現			表現社	大正	12	1
103	雑誌		文学時代		10	新潮社	昭和	4	10
104	雑誌		文学時代		4	新潮社	昭和	6	4
105	雑誌		文藝市場		6	騷人社	大正	15	6
106	雑誌		文藝公論	1	10	文藝公論社	昭和	2	10
107	雑誌		文藝時代	4	1		大正	16	1
108	雑誌		文芸春秋			文芸春秋社	昭和	16	9
109	雑誌		文芸春秋		8	文芸春秋社	大正	12	8
110	雑誌		文芸春秋		10	文芸春秋社	大正	12	10
111	雑誌		文芸春秋		11	文芸春秋社	大正	12	11
112	雑誌		文芸春秋		1	文芸春秋社	大正	12	1
113	雑誌		文芸春秋		4	文芸春秋社	大正	13	4
114	雑誌		文芸春秋		8	文芸春秋社	大正	13	8
115	雑誌		文芸春秋		3	文芸春秋社	大正	14	3
116	雑誌		文藝世紀	3	3	文藝世紀社	昭和	16	2
117	雑誌		文章倶楽部		4	新潮社	大正	9	4
118	雑誌		文章倶楽部		5	新潮社	大正	9	5
119	雑誌		文章倶楽部		7	新潮社	大正	9	7
120	雑誌		文章倶楽部		9	新潮社	大正	9	9
121	雑誌		文章倶楽部		6	新潮社	大正	10	6
122	雑誌		文章倶楽部		7	新潮社	大正	11	7
123	雑誌		文章倶楽部		1	新潮社	大正	12	1
124	雑誌		文章倶楽部		5	新潮社	大正	12	5

番号	区分	編著者	雑誌名	巻	号	出版社	元号	発行年	発行月
125	雑誌		文章倶楽部		6	新潮社	大正	12	6
126	雑誌		文章倶楽部		8	新潮社	大正		
127	雑誌		文章世界	4	7		大正	8	7
128	雑誌		文章世界	4	11		大正	8	11
129	雑誌		文章世界	4	12		大正	8	12
130	雑誌		文章世界	5	2		大正	9	2
131	雑誌		文章世界	15	6		大正	9	6
132	雑誌		文藝時代	3	9		大正	15	9
133	雑誌		文藝時代	3	12		大正	15	12
134	雑誌		文藝時代	4	4		昭和	2	4
135	雑誌		放送	1	10	NHK	昭和	10	10
136	雑誌		放送	1	11	NHK	昭和	10	11
137	雑誌		ほほじろ	2		頼白社(短歌誌)	大正	13	9
138	雑誌		ほほじろ	3		頼白社(短歌誌)	大正	13	12
139	雑誌		三田文学	11	5	時事新報社	大正	9	4
140	雑誌		民主文化			中外出版株式会社	昭和	21	1
141	雑誌		民主文化			中外出版株式会社	昭和	21	1
142	雑誌		山と溪谷		1	山と溪谷社	大正	15	1
143	雑誌		洋楽研究			洋楽研究社	大正	11	6
144	雑誌		ラジオ講演講座132			NHK	昭和	16	9
145	雑誌		歴史口論	2	7	雄山閣	昭和	8	7
146	雑誌		レコード文芸	1	1	レコード文芸社	昭和	10	10
147	雑誌		労働・政治			信州大衆党結成準備会			
148	雑誌		蠟人形		3	蠟人形社	昭和	16	3
149	雑誌		蠟人形		8	蠟人形社	昭和	17	8
150	雑誌		ロシア文学			三田書房	大正	12	4
151	雑誌		露西亜評論			進文館	大正	9	3
152	雑誌		早稲田文学	175	6	東京堂	大正	9	6
153	雑誌		早稲田文学		261	新潮社	昭和	2	11
154	雑誌		橄欖			向陵詩社	大正	9	11